

目次

広島大学マスターズ総会議事メール審議のご案内	1
「令和3年度事業」の報告	
令和3年度の全ての事業・行事が終了しました（一覧表）	2
市民フォーラム（第3回）：「SDGsと私たち市民の生活」が終了しました	3
広大マスターズは「タウン&ガウン事業」に参加しています	3
「ちゅーピーカルチャーセンター」に講師派遣をしました	4
広島大学の「留学生のための短期研修講座」に参加しました	4
「令和4年度事業」のご案内	
令和4年度も広島大学の「平和教育」に参加します	5
令和4年度東広島市民講座が始まります	6
「会員エッセイ」コーナー	
わが家もSDGsをはじめました！～後期高齢者夫婦のSDGs生活～	8

広島大学マスターズ総会議事メール審議のご案内

下記のように、定例総会議事の正会員のみによるメール審議を開催しますので、ご参加いただきますようお願い致します。（谷本能文）

令和4年度（第17回）定例総会議事メール審議

日時 令和4年6月4日（土）議事メール審議開始

場所 メールによる審議

次第 代表幹事挨拶

以下議事 令和3年度事業活動報告

令和3年度会計報告・会計監査報告

役員の改選

令和4年度事業計画

令和4年度予算案

新入会員の紹介 など

*感染者数高止まりで収束の見通しが立たずリバウンド感染も懸念されるオミクロン株コロナ禍第6波に対する感染防止の観点から、昨年度に引き続き、総会議事を正会員のみによるメール審議とし、総会直後の懇親会を中止といたします。ご理解くださいますようお願い申し上げます。

「令和3年度事業」の報告

令和3年度の全ての行事・事業が終了しました

広大マスターズは令和3年度(2021年度)も、さまざまな活動をしてきました。主な活動を一覧表で示します。なお、各行事・事業の詳細、議事録、報告レポートなどは、広大マスターズHP「会員版」の[行事・事業の報告]に記録してありますので、ご覧ください。(平田敏文)

事業種別	開催日	事業内容	開催場所
HM行事 (総会)	6月5日 (土)～12日 (土)	第16回総会 (議事メール審議)	メール審議
HM行事 (講演会)	9月18日 (土)	第13回マスターズ講演会(オンライン講演会) 「ウイルス感染症の基礎知識と新型コロナウイルス感染症」(松田治男)	オンライン
HM行事 (講演会)	2022年 2月12日 (土)	広大マスターズ主催「オンライン市民フォーラム」 シンポジウム: SDGsと私たち市民の生活	オンライン
HM行事 (講演会)	2022年 2月26日 (土)	広大マスターズ主催「市民フォーラム」 シンポジウム: 学生・留学生が地域で学んだ市の魅力と課題—産業、文化・教育、過疎・過密—	広島大学
広島大学 (教養教育)	第2ターム	平和と人間A—環境と生物の未来へ— (講義担当) 松田治男、深宮齊彦、松田正典、加藤範久、上 真一、安藤忠男、金田 晋、鈴木寛一、三浦省五、平田敏文、池上 晋、岩田賢司、池田秀雄 平和と人間B—人間と文化の未来へ— (講義担当) 松田治男、松田正典、深宮齊彦、三浦省五、加藤範久、池上 晋、難波平人、池田秀雄、平田敏文、渡部和彦、金田 晋、原野 昇、岩田賢司	広島大学
広島大学 (留学生教育)	夏期・冬期	留学生のための短期研修講座(日本語・日本文化特別研修) 金田 晋: 日本の絵画—絵巻物の世界— 渡部和彦: 日本の伝統スポーツと礼—武術から武道へ—	広島大学
東広島市 (市民講座)	通年	「小学生のための実戦的な将棋講座」(早瀬光司) 8/4, 8/5, 8/11, 8/12 「楽しいドイツ語入門 II」(吉田光演) 10/30, 11/6, 11/13, 11/20 「東広島を楽しくスケッチしよう(高屋町編)」(難波平人) 11/2, 11/9, 11/16, 11/23 (作品展: くらら 市民ギャラリー) 2022年1/5-1/10 「市民に身近な法律問題」(鳥谷部 茂) 2022年2/5, 2/12, 2/19, 2/26	市民文化センター
東広島市 (出前講座)	通年	「小学生のためのおもしろ理科実験」(谷本能文・樋高義昭)	東広島市内
広島リカレント学院	通年	専門講座: 英会話(三浦省五)、健康ウオーク(渡部和彦) 教養講座: イノベティブ起業家論(保坂幸男)、成年年齢引下げ一満18歳でできること、できないこと—(鳥谷部茂)、十牛図を読み解く(早瀬光司)、オリンピックと科学の進歩(渡部和彦)、広島の地質災害とくに豪雨災害(沖村雄二)、世界の美術紀行(難波平人)、浦島太郎と相対性理論(牟田泰三)、SDGsの時代にかかせないバイオプラスチックの開発について(白浜博幸)、withコロナ時代の栄養学(加藤範久)、健康食品とサプリメントの選び方(室岡義勝)、数学による多様な図形認識 パート2(今岡光範)、身近な接着のはなし(高田忠彦)、日本が男女共同参画社会になるために辿ってきた道(相田美砂子)、未来を見据える自動車のゆくえ—低炭素社会を目指して—(藤井博信)、2030年は人類存亡の分岐点!とは—私たちはどう対応すべきか?(安藤忠男)、平和都市広島・長崎とオリンピック—訪ね歩き体感したい平和—(渡部和彦)、ひかりと私たち(谷本能文)、浦島太郎の本当の話(牟田泰三)、フランスの少数話者言語(原野 昇)	広島市内
ちゅーピーカルチャーセンター	通年	「レギュラー講座」 「近代美術の世界」(金田 晋)、「水彩・油絵」(難波平人)	東広島市内

市民フォーラム「東広島の近未来を語ろう」（第3回） シンポジウム：SDGs と私たち市民の生活 (令和3年度広島大学マスターズ企画事業報告)

令和4年2月12日13:30より17:00まで、Zoomによるオンライン形式で『学園都市・東広島の近未来を語ろうーSDGsにもとづく市民生活ー』というタイトルでシンポジウムを実施した。

提言者は①「SDGsの概要と市民フォーラムの趣旨」広島大学マスターズ 池田秀雄、②「東広島市におけるSDGs」東広島市総務部政策推進監マネージャー 上野智博さん、③「SDGs推進に向けたソーラーシェアリング（営農型太陽光発電）の役割と可能性」わくわくソーラーシェアリング・ファーム 重家雅文さん、④「市民グループのSDGsへの取り組み」kokebee みつろうエコラップアドバイザー小池恵美子さん、shanti+jam 運営 ヨガトレーナー 矢中吏美さん、⑤「わが家もSDGs始めました！」広島大学マスターズ 安藤忠男さんの6名、司会は広島大学マスターズ上真一さんで実施した。それぞれ提言者のSDGsの取り組みについて発表があり、その後大変活発な質疑応答がなされた。終了後、極めて多くの方から活発な質問や議論があった。参加38名（うち一般18名）であり、当初の計画では16:30終了予定であったが、熱を帯びた議論が続き、関心の高さが伺えた。Zoomオンラインでは終了時間の融通が利き、会場での対面実施ではできない利点があった。（池田秀雄）

広大マスターズは「タウン&ガウン」事業に参加しています

「タウン&ガウン:(Town &Gown)」の情報を目にしたのは、市のタウン紙であったかと思う。実は、それ以前に、本市担当者から、市の新規事業、「市と広大との共同事業」の説明に加え、広大マスターズが審査員として長く関わった「学生懸賞論文」事業の廃止が告げられていました。

「学生懸賞論文」は、学園都市のシンボルであり、重要かつ有意義な事業と考えるので、その継続の要望と併せ、廃止になった場合でも、「後継事業」の要望をしたのである。しかし、次年度から「廃止」との結論でした。

その後、市の担当者との交渉を続けた結果、新規事業「タウン&ガウン」プロジェクトが改めて話題となり、広大マスターズが協力できる内容があれば、提案して欲しいとの提案をいただいた（予算枠は、50万円程度）。

本市が目指す「タウン&ガウン」の基本理念や具体的政策等、説明書等もなく、十分に内容把握ができない中、ある情報を目にしました。それは、広大キャンパス内に、「国際交流拠点」が建設されるとのことで、総工費15億円で、本市からは、その内の5億円を負担との内容でした。

国際交流、留学生、大学の知財移転、米国有名大学との提携、新産業、イノベーション、市民（地域課題）、等々、市の広報、広大情報誌等で耳にする先進的事業展開等が、頭を過ぎりました。

さて、改めて振り返る、「広大マスターズT&Gプロジェクト」です。市の補助金、50万円での基本方針を次のように立てました。実のところ、コロナの緊急事態宣言等で、関係幹事との間で直接の会合が開催出来ず、また、リモート会議の技術的支援が得られず、「HMの理念（地域に学びの場を拓く）」を念頭に立案・準備等を行いました。

1. 市内には、9町の中に、48カ所の「住民自治協議会」があります。その共通課題は、少子高齢化（過疎・過密地域あり）。「住自協」を「タウン」の対象と設定。
2. 学生（留学生含む）3班体制（各班留学生2名、日本学生2名：総計12名）。
3. 対象地域：（下見地域、豊栄町、安芸津町。大学との距離の遠・近で選択）。
4. 住自協有志の講義＋研修（歴史・文化・産業等スライド・資料提供、意見交換・交流、現地体験：オオサンショウウオ、芋堀、牡蛎打ち、酪農、神楽見学、等々）。
5. シンポジウム：国際交流拠点の利用。報告書作成⇒全住自協等への配布。
6. 留学生対象：（仮称）東広島市文化交流大使認定証発行（学生、院生：MC, DCは、1年生。今後数年間本市にて勉学予定で、地域訪問の機会が期待できる）。
7. 関係幹事：班毎に1名配置・学生の誘導・指導助言等を行う（経理担当幹事同行）。
8. 報道関係：中国新聞、カモンケーブルTV、プレスネット等の協力と広報あり。
9. 住民自治協議会等のご協力、学生諸君の熱心な研修活動、研修体験レポートを基に、シンポジウムでの発表に深く感謝します。

（渡部和彦）

「ちゅーピーカルチャーセンター」に講師派遣をしました

ちゅーピーカルチャーセンターは2013年7月にオープンしました。その最初からの2講座、難波平人会員の「水彩・油絵」（毎月・第1金曜日）と金田晋会員の「美術の世界」（毎月第2・第4金曜日）は今年も健在でした。難波教室は受講者が3月末12人となりました（去年4月、9人）。難波会員が別に、ほぼ毎年行ってきた市民講座「東広島を楽しくスケッチしよう」（作品展開催、於くらら市民ギャラリー）の熱気ともつながっているようです。金田教室も当初受講生3人だったのですが、今年3月現在13名。東広島市民だけでなく、広島市から5人、三原市から1人が毎回出席。作家や美術館学芸員らとの交流も盛んです。文化の求心力と言いたい。ちゅーピーセンターでは人気講座として評判です。（金田 晋）

広島大学の「留学生のための短期研修講座」に参加しました

正式の研修講座名は「日本語・日本文化特別研修」。毎年度夏と冬、本来は広島大学キャンパスに集めて開く2週間の集中研修事業、でもコロナ下では、去年も今年もズームでした。中国、台湾、非漢字圏各1クラス、計3クラス。当地の大学の日本語学科の学生が対象で、使用言語は日本語です。非漢字圏は、今年度夏も秋もインドネシアの学生でした。中国クラスの受講生の数が、夏132名、冬210名と突出しています。金田晋会員の「日本の絵画」。日本のアニメ、漫画は海外でも有名ですが、その元祖と言われる「鳥獣戯画甲巻」を取り上げ、その展開を仔細にすべて見てゆきます。日本絵画に生きる諧謔の精神を読み解いてゆきます。渡部和彦会員の「日本の伝統スポーツと礼」。渡部は胴衣を着て武道を実演しながら、試合を貫く礼の精神を教えてゆきます。（金田 晋）

令和4年度も広島大学の「平和教育」に参加します

広島大学では、2011年度から平和科目（選択必修、2単位）を開設しており、広大マスターズはこの平和科目群に、2022年度も「平和と人間A」、「平和と人間B」の2科目を提供します。これらの2科目は昨年と同様いずれも第2ターム（6月9日～8月4日）の月曜日に開講されます。「平和と人間A」が1・2および3・4時限、「平和と人間B」が5・6および7・8時限の開講となります。一昨年度からコロナ禍の中での授業となり、授業は全てオンライン授業となりました。2022年度の授業も、感染予防のための大講義室数が不足することおよび担当者全員がハイリスクグループであることから、オンラインとなります。

なお、2022年度の授業から、平和と人間Aの主担当が松田治男から山尾正博に交代となります。（池田秀雄）

平和と人間A—環境と生物の未来へ（主担当：山尾正博）

- 第1回 ガイダンス 授業の狙いと講師の紹介（山尾政博・元生物圏科学研究科）
- 第2回 貧困と栄養（加藤範久・元生物圏科学研究科）
- 第3回 広島投下の原子爆弾の構造・威力・被害と放射線障害（松田正典・元総合科学部）
- 第4回 人類が直面している諸課題（安藤忠男・元生物圏科学研究科）
- 第5回 未来社会の作り方（安藤忠男・元生物圏科学研究科）
- 第6回 哲学や美学の観点から見た典型的な平和について（青木孝夫・元総合科学研究科）
- 第7回 平和と国際政治（岩田賢司・元国際協力研究科）
- 第8回 心理学から見た平和（岡本祐子・元教育学研究科）
- 第9回 平和と科学技術—豊かな生活を求めて（平田敏文・元理学研究科）
- 第10回 男女共同参画社会への道（相田美砂子・元理学研究科）
- 第11回 環境と再生可能エネルギー（鈴木寛一・元生物圏科学研究科）
- 第12回 国際協力の過去と未来（池田秀雄・元国際協力研究科）
- 第13回 絶海の孤島で起こった環境破壊と社会崩壊：モアイ像は何を見たか？
（上 真一・元生物圏科学研究科）
- 第14回 貧困・感染症・国際協力（松田治男・元生物圏科学研究科）
- 第15回 持続可能な生産と消費のためのフードシステムの変革
（山尾正博・元生物圏科学研究科）

平和と人間B—人間と文化の未来へ（主担当：池田秀雄）

- 第1回 ガイダンス 授業の狙いと講師の紹介（池田秀雄・元国際協力研究科）
- 第2回 国民国家とその争点：フランスを事例として（川崎信文・元社会科学研究科（法学部））
- 第3回 貧困と栄養（加藤範久・元生物圏科学研究科）
- 第4回 男女共同参画社会への道（相田美砂子・元理学研究科）
- 第5回 平和と科学技術—豊かな生活を求めて（平田敏文・元理学研究科）
- 第6回 広島投下の原子爆弾の構造・威力・被害と放射線障害（松田正典・元総合科学部）
- 第7回 平和と美術（難波平人・元教育学研究科）
- 第8回 平和と国際政治（岩田賢司・元国際協力研究科）
- 第9回 貧困・感染症・国際協力（松田治男・元生物圏科学研究科）

- 第10回 戦争と記憶-比治山に眠るフランス兵士 (原野 昇・元文学研究科)
- 第11回 絶海の孤島で起こった環境破壊と社会崩壊：モアイ像は何を見たか？
(上 真一・元生物圏科学研究科)
- 第12回 平和とスポーツの祭典とオリンピック (渡部和彦・元教育学研究科)
- 第13回 哲学や美学の観点から見た典型的な平和について (青木孝夫・元総合科学研究科)
- 第14回 持続可能な生産と消費のためのフードシステムの変革
(山尾正博・元生物圏科学研究科)
- 第15回 国際協力の過去と未来 (池田秀雄・元国際協力研究科)

令和4年度東広島市民講座が始まります

令和4年度市民講座（主催：東広島市教育委員会，共催：広島大学マスタース）が始まります。ご近所の方、友人、知人の方々に、ご参加の宣伝をよろしくお願いします。（三浦省五）

(1) 「東広島を楽しくスケッチしよう（福富町編）」（講師：難波平人）

概要：スケッチの際の構図の決め方、着彩の要領、空間や明暗表現などを研究しながら、風情のある福富町の二カ所を楽しくスケッチしよう。雨天の時は研修室で、各自の持参した写真を参考に描きます。各自が道具を持参のこと。

開講時期：4月5日(火)・12日(火)・19日(火)・26日(火) (いずれも 13:30～15:00)

スケッチ場所：東広島市福富町竹仁 501-11

集合場所：竹仁地域センター

募集人数：30名

申込締切：3月18日(金)

画材：スケッチブック6号以上、鉛筆4B程度、水彩道具一式（アクリル、油絵の具も可）等持参して下さい。

(2) 「楽しいドイツ語入門：前期」（講師：吉田光演）

概要：ミュンヘン、ベルリンなどドイツの街を紹介するテキストを使って、ドイツ語の発音、文法を学びながら簡単な会話を身につけます。初めてドイツ語を学ぶ方が対象ですが、以前にドイツ語を学習された方も歓迎します。（受講される方は事前に下記のテキストを購入して下さい。）

テキスト：矢羽々／リスナー『アンファンゲ-ドイツの街へ（改訂版）』第三書房 2500円＋税

定員：40名

申込締切：6月17日(金)

開講時期：7月9日(土)・16日(土)・23日(土)・30日(土) (いずれも 13:30～15:00)

会場：東広島芸術文化ホール(くらら 研修室1・2) *郷田地区センター(7月23日のみ)

(3) 「小学生のための実戦的な将棋講座」 (講師：早瀬光司 (日本将棋連盟：五段))

概要：将棋の対局の仕方について講師より説明の後、各受講生の棋力に応じた「駒落ち」を設定して、講師が各受講生と将棋の多面指しを行います。将棋を通して、受講生が「深く考える」、「自分で考える」習慣を身に着けることを目指します。

対象者：すべての回に参加でき、将棋の実戦経験が5～6回以上ある小学生

定員：10名以内 (多数の場合は抽選による)

申込締切：7月20日 (水)

開講時期：8月3日(水)・4日(木)・10日(水)・11日(木) (いずれも 13:30～15:00)

会場：東広島芸術文化ホール (くらら 研修室1・2)

(4) 「楽しいドイツ語入門：後期」 (講師：吉田光演)

概要：ドイツ語の発音、文法の初歩を修得しながら簡単な会話を学びます。ドイツの街、歌なども紹介します。前期の「楽しいドイツ語入門：前期」に引き続いて授業を進めます。

「ドイツ語入門：前期」を受講した方を対象にしますが、受講されていない方でも入門程度の知識のある方は歓迎します。(今回から受講される方は下記のテキストを購入して下さい。)

テキスト：矢羽々ノリスナー『アンファングードイツの街へ (改訂版)』第三書房
2500円+税

定員：40名

申込締切：10月21日 (金)

開講時期：11月12日(土)・19日(土)・26日(土)・12月3日(土) (いずれも 13:30～15:00)

会場：東広島芸術文化ホール(くらら研修室1・2) *東西条地区センター(12月3日のみ)

(5) 「市民に身近な法律問題」 (講師：鳥谷部 茂)

概要：市民生活の中で最近生じている身近な法律問題についてわかりやすく解説します。

市民に身近な法律問題として、

- ① 所有者不明土地と財産権の保障
- ② ネットによる誹謗中傷等に関するプロバイダ責任制限法
- ③ ネット販売に関するデジタルプラットホーム規制
- ④ 裁判等に関するIT化法制

などについて解りやすく解説する予定です。

(注)令和2・3年度の講座と異なる法律問題を取り上げる。

定員：40名

申込締切：2023年1月20日 (金)

開講時期：2023年2月4日(土)・11日(土)・18日(土)・25日(土)

(いずれも 13:30～15:00)

会場：東広島芸術文化ホール (くらら 研修室1・2)

※ 市民講座の受講申込み・問合せ：東広島市教育委員会生涯学習課

TEL/082-420-0979 FAX/082-422-1610

わが家も SDGs はじめました！
～後期高齢者夫婦の SDGs 生活～

広大マスターズ 安藤忠男

SDGs の採択

2015 年秋の国連総会において「持続可能な開発目標 (SDGs)」が全会一致で採択されました。そして国連は全地球市民に対し SDGs 達成のために協力してほしいと呼び掛けました。国連が世界中の一人ひとりに対して直接協力を呼びかけることは、国連史上初めてではないでしょうか。そこで SDGs に関する情報を集めたところ、2016 年にはすでに世界中のずいぶん多くの企業や市民、団体が SDGs に取り組んでいることを知りました。

2017 年に朝日新聞が SDGs の特集記事を掲載し、その中にドイツのベルテルスマン財団が日本の SDGs 達成状況を評価した記事がありました。そこで私はわが家の SDGs 達成状況を自分なりに評価してみることにしました (右表)。

この表でお分かりのように SDGs 達成状況は、vs. 日本ではわが家の圧勝ですが、それらの評価の根拠を少しご説明しましょう。

SDGsの達成状況 (2017年5月現在)

SDGs	日本	安藤	SDGs	日本	安藤
1 貧困撲滅	×	○	10 格差の解消	△	○
2 飢餓ゼロ	△	△	11 持続的な街づくりを	△	△
3 皆に健康と福祉を	△	○	12 製造と使用の責任	△	○
4 皆に上質の教育を	○	○	13 気候変動を防ぐ	×	○
5 ジェンダーの平等	×	○	14 豊かな海を守る	×	○
6 安全な水とトイレを	○	○	15 豊かな陸を守る	×	○
7 クリーンエネルギーを	×	△	16 皆に平和と公正を	△	△
8 働きがいと生活向上	△	○	17 協働して目標達成	×	○
9 技術革新基盤整備	○	△			

日本の評価: ドイツ・ベルテルスマン財団作成の
SDG INDEX & DASHBOARD
(朝日新聞2017.5.11 より引用)

敷地内自立型の家づくり 50 年計画と SDGs

私たち家族は 1989 年 4 月に黒瀬町に自宅を建てて福山市から移住しました。広大の統合移転が決まった時点から西条近辺で土地を探し始め、東広島キャンパスから 10 km 程南の山裾に 600 坪あまりの土地を取得し、敷地内に与えられた地域資源を活用し、環境負荷のできるだけ小さい家「敷地内自立型の家づくり」を目指していたのです。

自宅建設から 25 年ほど経過し、2016 年には種々の成果も上がってきていました。



敷地内自立型の家づくりからSDGsへ

~1987年: 土地の選定、地域・環境資源活用型自宅の設計
 ~1989年: 井戸掘削、家庭排水浄化装置、薪ストーブ、自宅建設
 2000年: 太陽光発電装置(3.6kW)設置
 2008年: オール電化、断熱リフォーム、太陽光発電(3.4kW)増設
 2012年: 車3台→2台(内1台はHV車に更新)
 2013年: 全家庭カーボンニュートラル・エネルギー自立達成
世間並の生活水準を維持しながら、無理せずに達成可能
 2015年: 国連総会がSDGsを採択。全地球市民に協力要請。
 2016年: わが家でもSDGsを採択し、実行に着手し現在に至る。
 ~~~~~  
**後半の25年間(2014~2038年): 食料の自立を目指す。**  
 ・食料自立: 必要栄養量/食費相当分の農業収入を敷地内で確保  
 ・東広島市のカーボンニュートラル化、エネルギー自立に協力  
 ・2039年5月に“敷地内自立型の家”完成祝賀会を開催予定

### 敷地内自立型の家づくり:32年間(1989年~2021年)の成果

| 項目              | 2007年<br>リフォーム前 | 2009年<br>RF1年後 | 2013年<br>RF5年後 | 2021年<br>RF13年後 |
|-----------------|-----------------|----------------|----------------|-----------------|
| 発電量, kWh        | 3,643           | 7,665          | 8,029          | 7,508           |
| 購入電力量, kWh      | 2,266           | 3,855          | 2,840          | 3,054           |
| 消費電力量, kWh      | 3,650           | 5,710          | 4,502          | 4,828           |
| 販売電力量, kWh      | 2,259           | 5,809          | 6,369          | 5,727           |
| LPガス, m3        | 38.9            | 0              | 0              | 0               |
| 灯油, L           | 236.2           | 0              | 0              | 0               |
| 水道, m3          | 36              | 72             | 42             | 52              |
| 太陽熱温水器 MJ       | 6,300           | 6,300          | 6,300          | 6,300           |
| 薪ストーブ, kg       | 1,000           | 800            | 800            | 800             |
| ガソリン, L         | 784             | 738            | 530            | 318             |
| エネルギー・水道料金 円    | 181,901         | 9,734          | -147,911       | 98,189          |
| CO2正味排出量, CO2kg | 2,664           | 638            | -737           | -791            |
| エネルギー自給率 MJ%    | 61              | 97             | 119            | 119             |

電気: 9.76MJ/kWh, LPG: 100.48MJ/m<sup>3</sup>, 灯油: 37MJ/L, 薪: 20MJ/kg, ガソリン: 34.6MJ/L

SDGsに掲げられている環境関連の目標に関しては、わが家ではすでにほぼ目標を達成していると思われました。また、家庭内で努力できる社会的課題に関するSDGs目標についても、かなり達成できていると思っています。例えば、ジェンダー平等では、私の広大退職後から夫婦で全ての家事負担を折半しています。料理は一週間おきに交代していますし、他の家事も二人で分担しており、相互に不満はありません。私の退職前は、家事や育児は妻にほぼ任せきりだったので私の負担が増えたように思われるかもしれませんが、そんなことはありません。例えば料理当番では、自分が食べたいものを作れるのでやりがいがあります。夫婦それぞれが得意な料理を作るので、食事内容も多様になったと思います。二人とも家事に関しては自立したので、例え一方がパートナーを介護しなければならなく

なったとしてもやり切れる自信がついてきました。

わが家の過去5年間のSDGs活動の成果を以下のようにまとめてみました。

### わが家SDGs活動、6年間の成果(2022年)

- 1) **貧困**: 家計支出を年金収入の範囲内に収め、老後生活資金も確保。
- 2) **飢餓**: 食料の敷地内自立を目指し、世界食糧計画への寄付も継続。
- 3) **健康**: 衣食住の管理、運動・快眠・精神安定で健康維持。
- 4) **教育**: 家族全員に大学以上の高等教育を受けさせ家族の世界を広げる。
- 5) **ジェンダー**: 現在は全ての家事を夫婦で折半・相互尊重。
- 6) **水と衛生**: 井戸と水道で水確保・敷地内排水処理で水管理の敷地内自立。
- 7) **エネルギー**: 家庭内の生産・使用エネルギー収支は再エネで黒字。
- 8) **働きがい**: 地域社会で役割を分担し、地域住民と絆を深める努力。
- 9) **技術革新**: 技術革新で誰でも参加できる食料生産・里山管理を確立。
- 10) **不平等と格差**: 社会への積極的参加で社会の不平等・格差解消に努力。
- 11) **持続的なまちづくりモデル**となりうる生活を実践し、普及に努力。
- 12) **資源**: 省エネ・省資源、未利用資源の活用に努力。拡充を目指す。
- 13) **気候変動**: 2013年家庭内Cニュートラル達成。
- 14) **海を守る**: 過去33年間廃水を敷地内で浄化し、敷地外へ排水せず。
- 15) **陸を守る**: 里山の整備・管理を継続。
- 16) **平和と公正**: 家庭内では仲良く喧嘩、外では妥協。
- 17) **連携**: 仲間の拡大を図りたい。

### SDGs17 目標達成計画

国連が設定したSDGs達成計画は2015年～2030年の15年間です。現在、期間の半分が過ぎました。

### SDGs17目標達成計画

|                          |                                         |
|--------------------------|-----------------------------------------|
| 1) 貧困をなくそう               | 4) 質の高い教育をみんなに                          |
| 2) 飢餓をゼロに                | 5) ジェンダー平等を実現しよう                        |
| 3) すべての人に健康と福祉を          | 8) 働きがいも経済成長も<br>→まず家庭内で実現 →そして社会へ      |
| 6) 安全な水とトイレを世界中に         | 9) 産業と技術革新の基盤を作ろう                       |
| 7) エネルギーを皆に。<br>そしてクリーンに | 10) 人や国の不平等をなくそう                        |
| 12) つくる責任、使う責任           | 11) 住み続けられるまちづくりを<br>→家庭内と地域社会で実現を目指す   |
| 13) 気候変動に具体的な対策を         | 16) 平和と公正をすべての人に                        |
| 14) 海の豊かさを守ろう            | 17) パートナーシップで目標を達成<br>→地域社会と国際社会で実現を目指す |
| 15) 陸の豊かさを守ろう            |                                         |

#### 敷地内自立型の家づくり50年計画 (1989~2039年)

#### 社会との連携強化で実現を目指す

表の左側の9目標については、敷地内自立型の家づくりで達成できると思います。今後さらに磨きをかけ、地域社会の参考になりそうな点があれば地域で普及したいと考えています。しかし、右側の8目標に関しては、まずは家庭内で実現を図り、地域社会の中で連携を深め、目標の達成に努力したいと思います。現在、地球温暖化対策や里山整備に関しては地域の方たちと連携も進んでいますが、まだまだ不十分です。

## 東広島市・市民・事業者のSDGs 達成への課題

行政、市民、事業者ではそれぞれ目標、組織構成、規模などが大きく異なりますので、SDGs への取り組みについても異なります。三者の課題を列挙すると下記の表のようになります。

### 東広島市・市民・事業者のSDGs 達成への課題

#### 東広島市の課題:

- ①市民・事業者のSDGs活動への指針の提示
- ②東広島市・市民・事業者のSDGs活動の評価
- ③東広島市・市民・事業者間の連携を促進

#### 市民の課題:

- ①SDGs活動への積極的な関心と参加
- ②身近な目標から始め、全17目標の達成を目指す

#### 事業者の課題:

- ①雇用を守りつつ、社会的課題の解決に貢献する。
- ②地域社会・国際社会との連携を進める。

### 三者がワンチームになり、全17SDGsの達成を実現！

特に行政については全17SDGs 目標について、市民・事業者への指針の提示、活動の評価、三者間の連携の強化に努力してほしいと思います。SDGs の実質的な目標達成は市民・事業者が担わねばなりませんのでさらなる奮闘が必要です。東広島の SDGs 先進都市計画が名実ともに実を結ぶように三者がワンチームとして目標に向かっていく必要があると思います。

私は、SDGs が人類の未来を拓く大きな鍵になると考えています。未来の世代により良い社会を残せるように皆で力を合わせたいと思います。

広大マスターズは、SDGs 全17目標に関する専門家をそろえています。活動指針の設定や評価手法の開発などでも大きく貢献できると思いますが、皆様はいかがお考えでしょうか？

#### 【広島大学マスターズ事務局】

(郵便物宛先) 〒739-8601 東広島市西条栄町 8-29

東広島市市民協働センター内 メールボックス No.5 「広大マスターズ」

Eメール: [masters@hiroshima-u.ac.jp](mailto:masters@hiroshima-u.ac.jp)

URL: (会員版) <https://masters.hiroshima-u.ac.jp>

(かわら版) <https://hirodaimasters.web.fc2.com/index.html>